



平成27年度 兵庫県献血功労感謝のつどいを開催



8月31日、兵庫県公館にて、「平成27年度兵庫県献血功労感謝のつどい」を開催し、永年にわたる献血運動や造血幹細胞バンク事業の推進にご尽力いただいた143団体と3人の方々が受賞されました。また、受賞団体を代表して、兵庫県立日高高等学校看護専攻科自治会の山岸朝香さんと積水ハウス株式会社の増田崇さんが、献血者を集める苦労や工夫されている活動を発表。兵庫県学生献血推進協会長の飯田和弘さんは、「ちかいの言葉」の中で、日頃の献血推進への思いや今後もつなげていくのは若い自分たちの役目であると述べました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、県内より約180人の方々が参加くださいました。また、この式典に片道2～3時間かけてお越しくださった方々もおられ、多くの方々のご協力で大切な生命が守られていることを改めて感じる機会ともなりました。



ひょうごの 赤十字

2015 October 10月

災害時医療の連携を再確認



- 救命の知識と技術を普及
- 我が地域のために
- ケニア共和国へ看護師を派遣
- 平成27年度兵庫県献血功労感謝のつどいを開催
- 講習のご案内

講習のご案内

お問い合わせは、
お電話またはホームページで



078-241-1499 (講習係)

～家族のために、地域のために、そして自分のために～

あなたの目の前で人が倒れたり大けがをしたら…助けを呼ぶ、救急車を待つ、それしかできることはないでしょうか？もし、それがあなたの大切な人だったら…。

日本赤十字社では、万が一の病気やけが、災害などに備え、大切な人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を身につけてもらう講習を行っています。

いざという時、家族や周りにいる人がすぐに手当てを行えば、救命の可能性は高くなります。勇気を持って一步を踏み出せるよう、この機会にぜひ受講してみませんか？

救急法基礎講習(1日受講)

12/6@ 13:00～17:30

救急法救急員養成講習(2日間受講)

11/28@・29@ 9:30～17:30

救急法基礎・救急員養成講習(3日間受講)

12/19@・20@・23@ 9:30～17:30(初日は13:00～)

幼児安全法(2日間受講)

12/12@・13@ 9:30～17:30

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

健康生活支援講習 だれもが知っておきたい介護の基礎知識
11/14@ 10:00～12:00

健康生活支援講習 認知症高齢者への対応・癒しのハンドケア
11/14@ 13:00～15:00

幼児安全法講習 こどもに起こりやすい事故の予防と手当について
12/18@ 10:00～12:00

幼児安全法講習 乳幼児の一次救命処置(PBLS)
12/18@ 13:00～15:00

◇申込期日は開催日(初日)の一カ月前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

いのちと健康を守る赤十字活動は、
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海海岸1丁目4番5号

078-241-9889

赤十字 兵庫 検索



災害時医療の連携を再確認

～平成27年度兵庫県・播磨広域合同防災訓練に参加～

防災の日や救急の日を前に、山崎断層帯による大地震を想定した「平成27年度兵庫県・播磨広域合同防災訓練」が8月30日に行われ、兵庫県支部も参加。今回の訓練は、三木市総合防災公園を拠点に東播磨・北播磨の8市3町の会場で実施。三木市総合防災公園では、拠点運営訓練として、倒壊家屋や倒壊ビル、土砂崩落、列車事故、高層建物からの救出・救助訓練をはじめ、応急救護所や負傷者搬送などの医療救護訓練、その他救援物資搬送や被災者支援訓練などが行われました。



負傷者が不安がらないよう
話しかけながら症状を観察する医師



小野市の会場で行った
救急法ミニ講習会イベントの様子

応急救護所設置運営訓練に参加した柏原・多可赤十字病院の救護班は、消防による現場指揮本部や広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)、県庁災害対策本部と連携を図りながら、県内10医療機関の救護班などと共に、救出され次々と搬送されてくる負傷者の2次トリアージや必要な医療処置などに取り組みました。また同日、小野市の会場で心肺蘇生とAEDの使い方を知らせていただく救急法ミニ講習会イベントを開催し、多くの市民の皆さまに体験いただきました。兵庫県支部では、今回の訓練やイベントを通じて、多様化する大規模災害に対し、さらなる救護体制の充実強化に努めてまいります。



救命の知識と技術を普及

～ワールド・ファースト・エイド・デー
(世界救急法の日)イベントを開催～

国際赤十字・赤新月社連盟では、毎年9月の第2土曜日を「ワールド・ファースト・エイド・デー」と定めて、全世界で救急法の普及に努めています。兵庫県支部では、この普及イベントを9月12日にイオンモール神戸北にて開催。



ハートラビ
日本赤十字社公式マスコットキャラクター

59人の方々に心肺蘇生と自動体外式除細動器(AED)の使い方を体験していただきました。体験された参加者からは「胸骨圧迫は思った以上に体力がいることがわかった」「いざという時、使えるようにしておかないと」などの感想をいただきました。また、なりきりコーナーでは、子どもたちが赤十字救護員や看護師に大変身。子どもたちのかわいい姿に、お父さんお母さんたちも大喜び! 楽しみながら学びながら、赤十字を身近に感じていただいたイベントとなりました。



我が地域のために

～西播磨赤十字奉仕団と香美町赤十字奉仕団が研修～

防災の日や救急の日を前に、今後起こりうる大規模災害に備え、防災意識の高揚と地域の災害救護活動のさらなる充実を図っていただくことを目的に、西播磨赤十字奉仕団と香美町赤十字奉仕団が研修を行いました。

【西播磨赤十字奉仕団研修大会】

8月28日に西播磨総合リハビリテーションセンターふれあいスポーツ交流館にて開催し、西播磨地区の各地域赤十字奉仕団(たつの市、赤穂市、相生市、太子町、上郡町、佐用町)と地域自治組織の方々など145人が参加。真剣に、時には助け合い、楽しみながら、テント設営や非常食作り、身近にある物を使ったきずの手当て、食事の介助、避難生活などで生じるストレスの緩和に役立つリラクゼーションなどに取り組んでおられました。「災害時だけでなく、普段の生活でも活用できることを多く学んだので、ぜひ活用してみたい」といった感想をいただきました。



リラクゼーション
実技

少しでも緩和効果を上げたいと、
指導員の手技を真剣に見つめる奉仕団の皆さん



毛布を使った
ガウン作りを実践中

【香美町分区地域赤十字奉仕団災害救護実践研修会】

9月5日に香住文化会館にて開催し、香美町赤十字奉仕団40人が参加。毛布を使ったガウンや少量のお湯でできるホットタオル作り、風呂敷を使ったリュックサック作り、非常食作りと配膳サービス、テント設営、心肺蘇生とAEDの使い方などを学びました。手順を確認し合ったり、非常食をスムーズに配付できる動線などを相談し合いながら、いつ起こるかかわからない災害に備え、いざという時にすぐに対応できる知識と技術を身につけるため、団員一丸となって熱心に取り組んでおられました。



ケニア共和国へ 看護師を派遣

～地域保健強化のために～

東アフリカに位置するケニア共和国に、神戸赤十字病院の二星智恵子看護師を派遣することとなり、8月31日に出発式を行いました。日本赤十字社はケニア赤十字社と協力し、2007年から同国北東部のガルバチュウラ県で、5歳未満児と妊産婦の疾病・死亡数の減少と保健医療サービスへのアクセス向上を目的に、村人たちから選ばれた地域保健ボランティアの育成をはじめ住民への健康教育や保健対話集会の開催、医療施設の修理や医療資機材の整備などを行う地域保健強化事業(別称「愛ホップ(IHOP)」)に取り組んでいます。二星看護師の派遣は、9月4日から来年3月6日までの予定。現地の人々が自分の方で事業を継続し、成果につなげることができるよう、事業の進捗状況の確認や直面する課題への対応アドバイスなどを行います。



出発式で同僚から
花束を受け取る二星看護師(左)

IHOP:地域保健強化事業の英語標記_Integrated Health Outreach Projectの頭文字